

第1学年〇組 道徳科学習指導案

平成〇〇年〇月〇日 (〇) 第〇校時

授業者

1 主題名 苦手なことを避けない

2 ねらい 自分のやるべき勉強や仕事は、あきらめずにしっかり行う態度を育てる。

教材名 「マラソン」 (出典:「彩の国のどうとく」(低学年)『きょうもげんきに』 県教委)

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容について

第1学年及び第2学年の内容項目「希望と勇気、努力と強い意志」は、「自分のやるべき勉強や仕事をしっかり行うこと。」である。これは中学年の「自分でやろうと決めた目標に向かって、強い意志をもち、粘り強くやり抜くこと。」高学年の「より高い目標を立て、希望と勇気をもち、困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜くこと。」へと発展していくものであり、さらに中学校の希望と勇気、克己と強い意志への内容項目へと繋がっていくものである。

児童が一人の人間として自立し、よりよく生きていくためには、常に自分自身を高めていこうとする意欲をもつことが大切である。そのためには、自分の目標をもってその達成に向けて粘り強く努力するとともに、やるべきことはしっかりとやり抜く忍耐力を養うことが求められる。

(2) これまでの学習状況及び児童の実態について

本学級には真面目で素直な児童が多い。また学級全体に活気があり、係活動も活発で、業間休みには学級レクとして外遊びを企画し全員で遊んだり、帰りの会ではなぞなぞ係が問題を出して楽しんだりしている。さらに、友だちが素晴らしい意見を発表したときには自然と拍手が起きて、友だちの良いところを認め合うこともできる。

しかし、自分の仕事に責任をもって取り組める児童が多い一方で、大変な仕事や面倒な仕事を人任せにして、割り当てられた自分の仕事を最後までやり遂げられない児童も見られる。また、学習面においてはノートや作文などで文字を丁寧に書くことを嫌がる児童や、継続的にくり返す計算練習など根気強く行うことを嫌がる児童もいる。

そこで、嫌なことから目を背けるのではなく、自分なりの目標をもちながら、それに向かって努力し続けることの充実感や達成感などについて考えさせ、より高い道徳的価値に迫りたい。さらに、自らの生活を振り返り目標に向かって継続して努力しようとするという態度を育てたい。

(3) 教材の特質や活用方法について

本教材はマラソン大会を目前に控えたある日、体育の授業で行われるマラソンの練習を嘘をついて見学してしまった「ゆきお」が、逆上がりの練習をしているあきらの様子を見て、目標に向かって努力することの大切さについて考え始める話である。話し合いを次の3点の視点から構成する。

① 足が痛くないのに体育の授業を見学したゆきおについて考える。

嘘をついて体育の授業を見学してしまったゆきおの行動について考え、自分の気持ちに負けてしまうこともある人間の弱さを感じとらせ、話し合い、考える。

② 逆上がりの練習をするあきらを見たゆきおの気持ちを考える。

できなくても目標をもって努力し続ける大切さについて考え、道徳的価値を深める。

③ 元気に校庭に走っていくゆきおの気持ちを考える。

あきらめずに取り組もうという気持ちを強めに気付かせる。

4 学習指導過程

	学習活動と主な発問	予想される児童の反応	・指導上の留意点 ☆評価の視点
導入	1 アンケート結果について話し合う。 「今までやってつらかったこと・やめてしまいたくなくなったこと」	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなもつらかったことがあるんだな。 ・自分だけじゃないんだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に書いた内容の項目を発表する。 ・思ったことを自由に出し合うことで話し合いやすい雰囲気を作る。
展開	2 教材「マラソン」について知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・主人公 ・登場人物 ・条件・情況 3 教材「マラソン」の範読を聞き、主人公「ゆきお」の心の変化を中心に考え、話し合う。 ① 足が痛くないのに体育を見学しているゆきおについて考える。 ○体育を見学したゆきおは、友だちがマラソンをしている姿を見ながら、何を考えていたでしょう。	〈登場人物〉 <ul style="list-style-type: none"> ・ゆきお ・あきら 〈条件・情況〉 <ul style="list-style-type: none"> ・ゆきおは体育の授業でマラソンの練習をするのが嫌だ。 ・足が痛くないのに嘘をついて体育を見学した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材を紙芝居にすることで話に集中し、絵からも場面の状況を捉えられるようにする。 ・場面絵・センテンスカードを使用し、場面が理解しやすいようにする。
展開	○あきらをじっと見つめるゆきおは何をを考えていたでしょう。 <ul style="list-style-type: none"> ・二人組でゆきおとあきらの役割演技をする。 ○次の日も体育があります。ゆきおはどうしようと思ったでしょう。 <ul style="list-style-type: none"> ・「心のものさし」を使って気持ちを表す。 ③ 校庭に走っていくゆきおの気持ちを考える。 ○元気に校庭に走っていくゆきおはどんなことを思っているでしょう。	<ul style="list-style-type: none"> ・走らずにすんでよかった。 ・自分はずるいなあ。 ・やっぱり走ればよかった。 <ul style="list-style-type: none"> ・嫌だったり辛かったらやらなければいいのでは？ ・練習はつらいし、苦しいだけじゃないの？ ・あきは努力していてすばらしい。 ・体育のマラソンの練習を休まなければよかった。 <ul style="list-style-type: none"> ・がんばって走ろう。 ・いやだけど走ろう。 ・やっぱり走るのはやめよう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくもがんばるぞ。 ・苦手だけどがんばろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マラソンの練習が嫌だなあと思っているゆきおに共感させる。 ☆ゆきおになって発言できている。 <ul style="list-style-type: none"> ・役割演技をすることで、ゆきおやあきらの気持ちに迫らせる。 ・できなくても努力し続けるあきらと辛いことから逃げてしまったゆきおの対比で考えを深めさせる。 ☆ゆきおの心の変化に共感し発言している。 <ul style="list-style-type: none"> ・走る・・・ピンク ・走らない・・・水色 ・悩んでいる・・・中間 ☆友だちの考えを聞き、物事を多面的にとらえている。

<p>終末</p>	<p>4「きょうのがくしゅうで、わかったこと、おもったこと」を書く。 2～3人発表する。</p> <p>5 教師の説話を聞く。 担任が小学生の時、苦手な自転車の練習をして、できるようになった話</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分も持久走の練習をがんばった。 ・いやなことでも、最後までがんばろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いやなことや苦手なことでも、あきらめずに最後までがんばろうという気持ちを高める。 <p>☆考えを書いたり伝えたりすることで、自分を振り返り考えを深めている。</p>
-----------	--	--	---

5 他の教育活動との関連

- ・持久走大会に向けて、決められた距離を自分のペースで練習できるようにする。
- ・当番・係活動などにおいて、自分のやるべき仕事を最後までやり遂げることや、自分なりの目標を持ち、それに向けて努力できるようにする。
- ・朝の会・帰りの会の時間に、学習や日常生活で、あきらめずに最後までがんばれた児童の姿を紹介し、実践につなげる。
- ・学級活動の時間に、友だち同士で「がんばるあなたは、すてきだね」（「彩の国のどうとく」（低学年）『きょうもげんきに』資料編の活用）を記入し、廊下に掲示する。

6 評価の視点

【物事を多角的・多面的に考えている様子】

- ・これまでの自己を見つめ、努力することの大切さを理解している。
- ・友だちの考えをしっかりと聞き、物事を多面的・多角的に考えている。
- ・考えを相手に伝えたり、書いたりすることで、自己の生き方についての考えを深めている。

【道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

- ・自分や他人の中にある心の弱さや葛藤があることに気づき、それでも目標をもち努力し続けることの大切さを理解し身に付けようとしている。

7 板書計画

<p>場面絵</p> <p>このときのゆきおは、どんなことをおもっているでしょう。</p> <p>児童の考えを整理して板書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくもがんばろう。 ・つらいかもしれないけどがんばろう。 	<p>場面絵</p> <p>児童の考えを整理して板書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あきらはずごいな。 ・がんばっててかっこいい。 ・れんしゅうをやすまなければよかった。 ・ぼくもがんばればよかった。 	<p>あきらをじつと見つめるゆきおは、なにを かんがえていたでしょう。</p>	<p>児童の考えを整理して板書</p> <p>場面絵</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はしらずにすんでよかった。 ・ラッキー。 ・せんせいをだませたぞ。 ・じぶんはずるいなあ。 ・やっぱりはしればよかった。 ・いまからでもはしろうかな。 	<p>たいいくをけんがくしたゆきおは、なにを かんがえていたでしょう。</p>	<p>登場人物</p> <p>マラソン</p> <p>ゆきお</p> <p>あきら</p> <p>（ゆきおの情況）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨がふればいいのに。 ・マラソンはにがて。 ・マラソンいやだな。
--	---	---	--	---	---